

# 帰国児童学級の概要

愛知教育大学附属名古屋小学校

〒461-0047 名古屋市東区大幸南一丁目126番

TEL (052) 722-4616

FAX (052) 722-3690

E-mail kikoku@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

本校では昭和57年4月より、帰国児童を受け入れる学級を設け、日本の環境に適応するための指導と、海外で身に付けた特性を生かす指導を行っております。

## 1 本校の特色

- (1) 愛知教育大学の附属校であり、初等普通教育を行います。
- (2) 大学生の教育実地研究（教育実習）を指導します。
- (3) 教育の理論的、実践的研究を行います。
- (4) 公立学校との教育技術の交流を行います。

## 2 帰国児童教育の目的

帰国児童のうち、海外での生活経験と日本における初等普通教育の状況が著しく相違する児童に対し、日本の環境に適応する指導、特性を生かす指導を行うとともに帰国児童教育の研究を行うことを目的とします。指導にあたっては、特に次のことを目標とします。

- (1) 日本語の知識や表現・理解の能力の育成を図ります。
- (2) 学校生活を中心として、日本の生活習慣への適応を図ります。
- (3) 海外での教育条件によって生じた未学習部分を補充し、学習能力の向上を図ります。
- (4) 海外で身に付けた好ましい知識・態度等の保持、伸長を図ります。

(裏面もご覧ください)

### 3 帰国児童教育の指導方針

- (1) 児童の海外における教育事情や能力等に応じて、少人数学級での指導を行います。
- (2) 本校一般学級の児童との交流を図り、児童相互のふれあいを通して、日本の小学校生活に適応でき、よりよい人間関係を築くことができるようにします。そのために、一部の教科等では、一般学級とともに指導します。
- (3) 次のような活動に一般学級の中へ混入して参加し、集団生活への適応を進めます。

《活動例》

学校行事…運動会 お別れ音楽会 遠足

山の生活（5年） 古都の旅（6年） など

クラブ活動

委員会活動（5・6年）

- (4) 児童の海外生活における経験を生かして国際理解を促進し、国際性を助長するように留意します。
- (5) 教育相談の機会を定期的に設け、個々の児童の実態に即した指導に重点を置きます。また、保護者との懇談の機会を随時設け、年間を通して継続的に児童の指導を行います。
- (6) 本校の帰国児童教育の目標を達成し、日本の学習・生活環境に適応できるようになったと認められた児童は、公立学校に転出して学習することを推奨しています。

#### 〈付 記〉

- 帰国学級の児童募集は、12月から願書を交付し始め、翌年2月末～3月に入級検定を行い、入級の必要を認めた児童の受け入れを行います。（定期募集）
- 定員に欠員がある場合は、随時入級検定を行い、入級の必要を認めた児童の受け入れを行います。（随時募集）